

第1回柏市住生活基本計画検討委員会会議録

1 開催日時

令和2年10月13日（火）午前9時30分～午前11時15分

2 開催場所

柏市役所分庁舎2 2回 第1・第2会議室
（柏市柏255-1）

3 出席者

（委員）

泉委員，岡田委員，小林委員，曾波委員，新田委員，星合委員，堀内委員，森委員，吉田委員

（事務局）

都市部佐藤理事，沢次長，住宅政策課藤田課長，鈴木主幹，工藤主幹，麻生主事，篠原主事

4 傍聴

傍聴希望者なし

5 議案

（1）座長選出

（2）柏市住生活基本計画改定に関する概要について

（3）柏市の住宅及び住環境を取り巻く現況について

6 その他

（1）事務連絡

7 議事（要旨）

【議案1】座長選出

小林委員が座長となった。

【議案２】 柏市住生活基本計画改定に関する概要について

【議案３】 柏市の住宅及び住環境を取り巻く現況について

資料をもとに、議案の内容及び改定の方向性について事務局より説明し、ご意見をいただいた。要旨は以下のとおり。

（座長）

- ・計画の位置づけについては、国や県の上位計画もあるが、住生活は地域密着という観点で、市から国や県に提案するつもりで検討してよいと思う。
- ・居住支援協議会など、大家の安心感を高められるサービスを検討できるとよい。
- ・１戸建ての住宅を共同居住として利用するなど、セーフティネットについても検討が必要。
- ・マンションの管理条例の制定も検討の余地がある。

（泉委員）

- ・単身高齢者が家を借りる際などに、働けない、不慮の事故などを理由に大家に断られることが多い。
- ・高齢者高齢者向けの保証制度がない。
- ・生活保護の住宅扶助費は４１，０００円だが、現状、それ以下の住宅が少ない。
- ・住宅や道路等のバリアフリー化も必要である。歩道に段差が多く車椅子では通行しづらい
- ・共同住宅に居住する方の町会加入についても検討できるとよい。

（岡田委員）

- ・防災について、長期的な計画が必要である。地域の防災力を高める施策を検討できるとよい。
- ・道路空間の安全性について、検討してほしい。

（曾波委員）

- ・単身高齢者向けの賃貸住宅が少ない印象がある。特に、生活困窮者が住める条件にある借家が少なく感じる。
- ・住宅セーフティネットの検討をすすめる際には、住宅確保給付金などのような年齢制限のあるものとは別枠を検討してほしい。
- ・一人で自宅に関する手続きをすることが困難な方について、具体的な相談窓口となるような制度の検討も必要。

- ・市営住宅の申し込みから入居までの期間短縮も検討してほしい。

(星合委員)

- ・町会で居場所づくり等の空き家活用を検討できるよう、できる限りの情報開示ができるようにしてほしい。

(堀内委員)

- ・住宅では、世帯主が亡くなった際の登記等権利に関する事務手続きができない、親族や司法書士と相談する能力がない、などの事情で所有者不明で利活用できなくなるケースがある。

- ・信託法を活用し、所有者に権利を残す形で若い親族に管理を委ねる制度を設けるなど、権利関係の支援があるとよい。

(森委員)

- ・マンションの管理の適正化の推進に関する法改正などもあり、今後マンションに関する実態調査、計画策定は必要になると思う。

- ・マンションの施策についての記載も検討してほしい。

(吉田委員)

- ・災害に対する住まいの安全・安心についても充実した内容になるとよい。

- ・他の部署では建設協会と防災協定を結ぶなどしているため、参考にできるかもしれない。